

# 新体育館に関する特別委員会会議録

○日 時 平成29年10月19日(木) 午後1時00分

○場 所 全員協議会室

○協議内容

新体育館の基本設計について

○出席委員

委員長	永田	公由	君	副委員長	永井	泰仁	君
委員	金田	興一	君	委員	小澤	彰一	君
委員	篠原	敏宏	君	委員	平間	正治	君
委員	村田	茂之	君	委員	中野	重則	君
委員	横沢	英一	君	委員	西條	富雄	君
委員	金子	勝寿	君	委員	山口	恵子	君
委員	古畑	秀夫	君	委員	丸山	寿子	君
委員	柴田	博	君				

○欠席委員

委員	中村	努	君	委員	牧野	直樹	君
委員	中原	巳年男	君				

---

○説明のため出席した理事者・職員

副市長	米窪	健一朗	君
こども教育部長	中野	昭彦	君
生涯学習スポーツ課長	胡桃	慶三	君
スポーツ推進係長	田下	高秋	君
新体育館建設プロジェクト担当係長	佐々木	高史	君

---

○説明のために出席した参考人

I N A ・ エーシーエ設計共同体			
I N A 新建築研究所 設計部長	南部	博政	君
I N A 新建築研究所 設計部部長	北吉	貴行	君
I N A 新建築研究所 設計部主任	須藤	大輔	君
エーシーエ設計 松本支社設計部部長	春日	仁一	君
明豊ファシリティワークス (株)			
PM本部 第二部専任次長	遠藤	真人	君

○**議会事務局職員**

事務局長 竹村 伸一 君 事務局次長 横山 文明 君  
議事調査係長 藤間 みどり 君

---

午後1時00分 開会

○**委員長** それでは定刻になりましたので、ただいまから新体育館に関する特別委員会を開会をいたします。

この際に申し上げます。中村努委員、牧野直樹委員、中原巳年男委員より欠席する旨の届け出があります。また、金子委員、村田委員より遅刻する旨の届け出があります。また、本日参考人としてINA新建築研究所から南部博政さん、北吉貴行さん、須藤大輔さん、エーシーエ設計から春日仁一さん。それから、明豊ファシリティワークス株式会社から、遠藤真人さん、岡野健さんに出席していただいておりますので、それぞれ御了承を願います。

理事者から挨拶を受けることといたします。

---

**理事者挨拶**

○**副市長** 改めまして、こんにちは。大変お忙しい中、また、天候の悪い中、特別委員会をお願いをいたしましたところ、御参集を賜りまして、大変ありがとうございます。

本日、お手元に差し上げてございますとおり、前回の特別委員会でゾーニング案を御協議、御承認をいただきましたので、本日はもう一步入って少し細かい点まで、御協議をさせていただきたいというふう存じております。どうぞよろしく御審査をいただきますようお願いを申し上げます。

○**委員長** それでは、審査に入りますが、当日資料として基本設計のスケジュールについての資料をお配りしてありますので、ごらんいただきたいと思います。

---

**新体育館の基本設計について**

○**委員長** それでは説明を求めます。

○**子ども教育部長** 本日は、今、副市長から話がありましたように、前回の特別委員会でゾーニング案の御了承いただきましたものですから、その後、さらに検討を進めております基本設計の素案の中間報告という形になりますものですから、御意見をいただければというふうに思います。なお、技術的な質問に対しては、また、参考人から答弁をさせていただくことがあるかもしれませんが、よろしく願いいたします。では詳細につきましては、プロジェクトサブリーダーから説明をさせていただきます。

○**生涯学習スポーツ課長** それでは、資料に従いまして御説明申し上げます。前回、お諮りしましたゾーニング案に基づきまして、現在設計の素案についてまとめているところでございます。前回の委員会の中でも御意見を頂戴しました中で、幾つか反映をいたしましたので、御説明申し上げます。

まず1つ目は、メインエントランスは体育館の中央南側に設けたいというように考えてございます。それに伴

いまして、車寄せも西側のほうに延びているものでございます。

もう2点目。トイレ、更衣室等につきましては、別々に計画をしてございましたが、皆様の御意見を頂戴する中で、今回は更衣室、トイレを男女別にして、それぞれ1つにまとめるということにしております。

また、アリーナコリドーにつきましては、幅員について狭いのではないかというような御意見を頂戴しましたので、こちらについても現在、幅員4.8メートル程度で考えているものでございます。

そのほかとしましては、観客席は、メインアリーナについては721席の計画で現在進んでございます。こちらは10席の車椅子、また、アリーナコリドー上部の67席を含めた721席となっております。また、2階のランニングコースをサブアリーナまで含めた形、2階全周ではどうかという御意見がございましたけれども、ざっと計算しましたところ、金額で2億5,000万円ほど増になるということがわかりましたので、今回は原案のとおり、約200メートル、幅員2メートル程度でランニングコースは計画していきたいというように考えているものでございます。

続きまして、資料2ページ目でございます。見える化のアリーナコリドーの考え方についてでございます。現在お手元にお示ししております断面図につきましては、アリーナコリドー、メインアリーナ、ランニングコース、サブアリーナを短い方向で切った状況を示してございます。表にございますように、見える化の建具の位置等は、それぞれ事務局並びに設計事務所等でシミュレーションをしましたところ、現在のこの断面図の案が一番よいのではないかとこのところで落ち着いてございます。

まず、見える化建具の位置につきましては、1階のメインアリーナ側に設けたい。理由につきましては、メインとサブを独立して使用した際に、コリドーをサブの観覧席として利用できる。2点目、独立して大会利用する場合はメイン側が多いので、メイン側の観戦がしやすいという点を考慮しました。2階側の壁につきましては、サブアリーナ側に設けたいと考えてございます。現在この体育館につきましては、メインアリーナ、サブアリーナとも、空調を設置する予定でございますので、独立してそれぞれ空調をかけた場合に空調エリアを分離することができ、メインアリーナとサブアリーナをそれぞれ空調をすることができるということから、サブアリーナ側に、壁または窓を設けたいということでございます。

続いて、見える化の建具の仕様でございます。アリーナコリドーとメインアリーナに設置をしようと考えておる可動壁につきましては、折れ戸、スライド扉等を考慮していきたいと考えてございます。理由としましては、開放感、一体感があるということ。また、2階の壁につきましては、多くは壁になるかもしれませんが、サブアリーナ側の2階観覧席を考慮し、ガラス窓を設置することにより、スペース効率がよく、ランニングコースの幅員等も確保できるという利点があると考えます。しかしながら、防火区画の考え方もありますので、今後、コストの検証を行いながら詳細を決定したいというように考えてございます。

今、パワーポイントのほうにもお示ししましたけれども、平面図的には、この部分を切ったイメージでございますので、断面図としてはメインアリーナ、コリドー、サブアリーナ、2階はこの上部がランニングコースであるというようなイメージであります。

続きまして3ページ目でございます。ゾーニングの案につきましては、スポーツゾーン（メイン、サブアリーナ、トレーニングルーム、多目的室）の連続配置は、メインとサブアリーナを全面として一体利用しやすいということ。また、事務局案でよいという御意見。こちらは済みません、市民懇談会と懇話会の中の意見をまとめたもの

でございます。ゾーニングについては、メイン側にもトイレの検討が必要ではないかというような御意見を頂戴しました。

続いてアリーナコリドーについての御意見です。アリーナコリドーは特徴的であり、うまく生かしてもらいたい。アリーナコリドーは多目的に使えてよいのではないかと。また、先ほど申し上げましたが、アリーナコリドーの幅員が、やはり、ある程度必要ではないかというところでございます。あと、開閉できる手法も検討するべきだということ。あと、サブの観覧スペースとなるように工夫してほしい。また、可動間仕切りによる案については賛成であるということでございます。

続いて、見える化についてでございます。「見える」ということは、子供の体験としても「する」と等しく重要ではないか。また、できるだけ「見える」ようにしてほしい。キッズルームは「見える化」が望ましいが、見えなくすることができるような検討も必要ではないかという意見がありました。また、トレーニングルームは、ぜひ外部が見えたほうがよいという御意見。また「見える化」は国のスポーツ基本計画でもあり、積極的に採用してほしい。「見える化」には賛成である、仕切れる仕様を検討してほしい。トレーニングルームとキッズルームは、腰壁がある窓程度が欲しいということです。あと、メインとサブは全面見える化、それ以外も「見える化」でよいが、視線を遮ることの検討も必要ではないかというように、御意見を頂戴しています。また、避難所として設置した場合に、プライバシーの配慮が必要ではないか。また、多種目での練習時に、音が気になるかもしれないという御意見等を頂戴してございます。

ここで、設計事務所さんのほうで、メインエントランスからコリドーに入るイメージを、ムービーでつくっていただきましたので、こちらをごらんいただけたらと思います。

これが外から入って、風除室を介してスポーツアリーナを通過して、これがコリドーの中に入った状況です。左側がサブアリーナ、右側がメインアリーナ。現在、右側のメインアリーナの可動間仕切りはあいてございまして、左側は防球ネット等です。これが閉じた状態です。メインアリーナで空調等をしていきたい場合には、こういった形で仕切りをすることによって、メインアリーナ、サブアリーナを仕切ることができるというようなイメージになってございます。ありがとうございました。

続いて、主要施設について御説明申し上げます。資料4ページでございます。資料5ページにもそれぞれ諸室のイメージ図もございますので、あわせてごらんいただければと思います。

トレーニングルームにつきましては、利用方法としては一般のトレーニングルーム。器具としては、おおよそ36台程度設置できるのではないかと考えてございます。

続いて、多目的室1、主にスタジオとして使いたいと考えております。会議時には54席、また、スタジオ使用の場合には、大体一人当たり1.8メートル四方を使用するという想定のもとに、22名程度使えるというような大きさであるというところでございます。また、音響設備、ミラーボール、ガラス張りの壁等を設置したいというように考えてございます。

多目的室2につきましては、主に会議室として利用することが多いのではないかとということで、会議時には36席の席を設けたいというように考えてございます。

続いて更衣室、トイレにつきましては、現在検討中ではございますけれども、トイレについては、お示ししましたとおり、男子は洗面器が8、小便器が10、大便器が7。女性につきましては、洗面器が9、大便器が13。

あと、ロッカーにつきましては、こちらの利用規模に応じまして、男女各101名分ずつ。それから、シャワーは男女各6カ所設けたいというように考えてございます。こちらは利用人数から積み上げにより算出したものでございまして、類似事例も参考にしております。ただし、これが絶対数ではございませんので、今後、諸室の配置等に鑑みまして、この数がふえたり減ったりするという。あと、今、お示しました数は、1階、2階の総合計の数ですので、よろしくお願いいたします。

続きまして、低床型観覧席の検討でございます。現在、観覧席については、メインアリーナの長手側に設置するというので計画を進めてございますけれども、この低床型観覧席の最低高さの設定によって、いろいろ影響が出てくるというものでございます。今、事務局では、1案、2案、3案というような形で考えてございます。

1案は、一番低いパターンを考えておりまして、バドミントンコートのエンドラインが見える設定とした場合でございます。こちらはメインアリーナから手すりの上限までが約1メートル26センチ程度になるのではないかと考えております。ただし、観覧席の下を大会諸室に使用しますので、現在、断面図にありますように、大会役員室の一番低いところでは、1メートル35センチ程度しかとれないというような、低い設定になってしまいます。

続いて、2番目でございます。バスケットコートのエンドラインが見える程度まで、高さを上げた場合です。メインアリーナから手すりの上段までが1メートル77センチ程度になりまして、大会役員室もある程度高さ1メートル90センチ程度が確保できますので、有効的な活用ができるのではないかと考えてございます。ただし、こちらは、バドミンツンのエンドラインが、1メートル程度見えないという計画になってございます。

続いて、3案目。バスケットコートのエンドラインから1メートル内側が見える場合です。こちらについては、メインアリーナから手すりの下までが2メートル20センチ確保できること。また、大会役員室もほぼ天井高、2メートル30センチと多くとれますけれども、この高さを変えることによって構造体の高さが変わりますので、当然コストにも影響してくるということを御考慮ください。

現在、事務局では、この2案目のものを中心として考えていきたいというように考えてございますので、よろしくお願いいたします。

最後に、別紙2でございます。今現在の基本設計のスケジュールでございます。本日の特別委員会開催いただきまして10月19日でございます。この後、懇話会を10月24日に開催いたしまして、また、皆様から御意見を頂戴したいというように考えてございます。また、次回特別委員会は来月11月24日を設定してございますので、また、皆様の御協議のほどをよろしくお願いいたしますと思います。一応、雑駁ではございますけれども、前回の特別委員会から変更しましたこと、また、現在の状況等について御説明申し上げました。よろしく御協議のほどお願いいたします。以上です。

**○委員長** それでは、説明が終わりましたので、質問、意見をいただきたいと思います。なお、質問、意見につきまして、ちょっと区分して行いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

初めに、設計素案とアリーナコリドーの見える化について。この2点について、質問、意見を受けたいと思いますのでお願いいたします。

ございませんか。

○篠原敏宏委員 コリドールの幅員に関しては、前回の委員会の折に、ちょっと狭いのんじゃないかという意見を言わせていただいて、それを反映した形にさせていただいたのはお礼を申し上げます。いい方向だと思います。

1点、床面は体育室と同じ床面になりますか。要は、そうそう、一体。

○生涯学習スポーツ課長 資料2ページ目にもございますけれども、現在、メインアリーナ、アリーナコリドー、サブアリーナについては、床についてはフラットで考えていきたいというふうに考えてございます、というお答えでよろしいですかね。

○篠原敏宏委員 お聞きしたのは、それで結構なんです。これは提案にもなりますが、サブアリーナとメインアリーナを、例えば、地域だと子供たちの運動会なんかで使うっていうような想定をすると、メインアリーナだけで例えばトラックとかするっていうのは、やっぱり少し狭いんじゃないか。そうすると、コリドーを一時閉鎖をして、両方がつながる形ができる。そういった工夫を2カ所くらいすることで広く、例えば、活用できる。そういう工夫だとか、それで市民の利活用の幅がすごく広がるのではないかなって感じがします。これは素人案ですので、できるかできないかは、あれなんです。できれば、床面が両方同じで共通していると。あと、可動の間仕切りの工夫で両方が一体で使えるということになると、例えばトラックは狭いですが、屋内で運動会だとかが可能ではないかなという感じがしますので、検討ができるかどうかも含めて、お伺いしたいと思います。

○IINA新建築研究所（北吉貴行君） 現在、アリーナコリドーにつきましては、メインアリーナ、サブアリーナと同材の床材で一体的に利用できる方向で進んでおりまして、これからその他の検討を含めて、御意見を反映させていただきたいと思っております。

○委員長 よろしいですね。

○篠原敏宏委員 はい。

○委員長 ほかにいかがですか。

○横沢英一委員 関係するかもしれませんが、アリーナコリドーとランニングコースの中に、席があるわけですが、椅子ね、これは固定式になるのか。今、聞いていると1階のほうは固定じゃないような感じがするのですが、上のランニングコースにも席があるわけですが、これは固定になるのかも含めて教えてもらいたいです。

○生涯学習スポーツ課長 現在、客席についても検討はしているところでございます。今、設計者からも話がありましたとおり、1階についてはフラットではあるんですけれども、もし一体利用をするのであれば、やはり、当然、固定席にしてしまうと支障があるということが懸念されます。ただし、視察にも行きました佐伯の体育館につきましては、サブアリーナ側に間仕切り壁がございまして、その幅を使って固定の椅子がございました。そこについては大変有効に使われてまして、スポーツをする方の荷物置き場になったりとか、休憩室になったりとかしてましたので、その辺は、これから見える化の建具の仕様、並びに、使用形態も含めて検討していくべきかなというように考えてございます。

あと、2階については、基本これは固定になるのではないかとこのように考えてございます。そのような形で検討していきたいと思っております。

○委員長 いいですね。

○横沢英一委員 はい。

○平間正治委員 アリーナコリドーの関係ですけどね。先日、福祉教育委員会で、流山市の体育館、御社の方も二人みえていただきましたけれども、3メートルだったですね、あれ。3メートルってかなり広いんですね。これは広いほうがいいかもしれませんが、4.8メートルっていうと、かなり広くなるのかなと。実際に見てきた感覚で言いますとね、そういうふうに見えるんですよ。

それがふだんに必要だということならば、それでいいかと思えますけれども。ふだんね、ちょっとこれまで、申しわけない、説明があったかもしれないですけども、ふだんどういうふうに使用をしたり、あるいはメインアリーナとサブアリーナをぶっ通しで使うような機会っていうのは、果たして、どのくらい想定できるんでしょう、回数的に。

そういうことから考えていって、アリーナコリドーが4.8メートル必要なかどうかというところを、少し検討されたほうがいいのかなくなっていうふうに思います。

○生涯学習スポーツ課長 実際、今、設計では4.8メートルとしてございますけれども、私どもが視察に行きました佐伯市は7.6メートルくらいありました。それは実際、メインアリーナとコリドーの間に固定式の椅子が1.2メートルくらいの幅でありましたので、それを差し引くと、現況、この4.8メートルに近づくのかなというふうに思います。

やはり一体的に使った場合の形態を考慮した場合に、じゃあ椅子をどうするのかというところが議論になってくると思いますので、また、皆さんの御意見を頂戴しながら、この辺は詰めていければなあと思います。あと、建具の使用によっては、この幅が大分変わってくると思いますので、その辺も考慮しながら検討します。

○委員長 北吉参考人にお伺いしますけど、今、3メートルと4.8メートルという数字が出てまして、1.8メートル違うわけですよ。そうなった場合に、面積的にどのくらい広がるのか。また、建設費としてはどのような影響があるのか。その辺についてはいかがですか。

○INA新建築研究所（北吉貴行君） ちょっとお時間を、計算しますので。

○委員長 はい、いいです。

○柴田博委員 エントランスからメインアリーナ及びサブアリーナへ入るのは、この平面図を見ると、どこから入るかは、ちょっとよくわからないんですけども、アリーナコリドーから入るような形になるのか、それ以外に入り口があるのか、その辺をちょっとお願いします。

○生涯学習スポーツ課長 実際はですね、ここ、エントランス入りまして、ここで靴を脱ぎまして、上履きにさせていただいて、基本はアリーナコリドーが通路がわりになりますので、基本はこんな形で入りますけど、メインアリーナはこちらからもアプローチができますので。

実際はですね、正面玄関から入りまして、ここで靴を脱ぎまして、上履きに履きかえてさせていただいて、中央を通過して、このアリーナコリドーが通路になりますので、メインの入り口としては、こういった形の動線でサブアリーナ、メインアリーナに入ると。メインアリーナについては、こちら側から入ることができるというような動線の計画に、現在はなっております。

○柴田博委員 その場合、メインアリーナ及びサブアリーナに入るときに、何もドアとか扉とかはなくて、ただ、フリーになっているところの網をくぐって入ったりするような形になるのか。それとも、ドアなり扉なりを固定式のものをつけるのか、その辺はどうなんですか。

○生涯学習スポーツ課長 基本的にはここに見える化の建具を全面に設けるつもりでおりますので、基本的にはですね、常時入れるところはこのアリーナコリドーに、ここに建具がございますけれども、メインアリーナは、ここに専用の入り口、一般的なドアをつけるような形にして、あと残りについては可動式にしたいというような形で計画したところでございます。

○委員長 いいですね。はい。

○INA新建築研究所（北吉貴行君） 先ほど御質問ありました、アリーナコリドーを1.8メートル拡張した場合ですね、面積的には約65平米、これを建設費に換算しますと、ちょっと概算になりますが約2,900万円ほどアップいたします。

○委員長 ありがとうございます。ほかにいかがですか。

○丸山寿子委員 済みません。キッズルームのことでお聞きをしたいと思います。見える化についてですけども、見えなくもすることを検討してほしいというような意見も出ていたり、腰壁がある程度の窓でもいいってというような意見も出ているようなんですが、例えば、えんぱーくの子育て支援センターも建設計画の段階で、1階にするか2階にするかで、かなり意見が二分されたというようなことがあります。もし、見えなくするようなこともできるというような検討っていうのは、どんなことが考えられるのか。えんぱーくの場合は、ロールカーテンとか。中からカーテンで、中からは見えるけれど外からは見えないというような、中でキッズルームの場合はスポーツをするわけではないと思うんですが、ちょっとその辺についてお考えをお願いします。

○INA新建築研究所（北吉貴行君） こちらにつきまして、現在、検討中ではありますが、やはりキッズルームの機能としましては、外からもやはりお子さんの様子が見えるようにということで、ガラスをベースにしなが、先ほど御意見がありましたように、カーテンやロールスクリーンで外から見えないようにするようなことを、今、考えておりますし、腰の部分に壁にしたり、半透明と言いますか、様子、影とかはわかるけれども、はっきりとは見えないようなガラスにしたりとかっていうことをいくつか、今、検討を進めております。

○丸山寿子委員 はい。じゃあ検討よろしくをお願いします。あと済みません、もう一点ですけど、トイレの数ですが、面積的に割り出すと先ほどのトイレの数かと思うんですが、建物によっては。

○委員長 トイレは後。

○丸山寿子委員 トイレは後、はい、わかりました、済みません。

○委員長 ほかにいかがですか。

〔「なし」の声あり〕

○委員長 よろしいですか。はい。それでは次に進みたいと思います。

主要施設について質問、意見をいただきたいと思いますが。

○丸山寿子委員 済みません。トイレについてですが、面積的に割り出すと、このような数かと思うんですが、建物によっては女性のトイレのほうが、全て面積とすることはわかっていますが、男女同数にしてるところもあるんですけど。これは同数にするってことは、かなり無理な話ですかね、お聞きをします。

○委員長 もし、そういう点については、今、検討中ということであれば、検討中ということでもいいですがね。

○新体育館建設プロジェクト担当係長 割合につきましては男性が5、女性が7という割合で、女性のほうを多く総数から割り出すように設定をしております。



○委員長 総数から女性のほうを多く割り出している。この増減はできるわけですね。まだ、これからですから。

○新体育館建設プロジェクト担当係長 今は、ほかの事例でありますとか、同事例から割り出した面積から数を算出してあります。ただ、これを細かく、ロッカールームでありますとか、シャワールームの配置をこれからしていきますと、どうやって収めるかと、収まりもありますので、それも含めまして、1階と2階の割り振り、最終的な増減を決定したいと思っております。よろしく申し上げます。

○委員長 ほかにいかがですか。

○西條富雄委員 パラリンピック等々で、障害者スポーツがかなりポピュラー的になってまして、かなり人口がふえてまいりました。その観点でお伺いします。

多目的トイレ、多目的シャワーはどのようにお考えになってるか、お伺いします。

○新体育館建設プロジェクト担当係長 多目的トイレにつきましても男女各1、シャワーにつきましても男女各1、設けてございます。

○委員長 よろしいですか。ほかにいかがですか。

〔「なし」の声あり〕

○委員長 それでは次に、低床型観覧席の検討状況について説明をいただきましたけれども、この点については、まだ事務局では決定をしておりません。もし、委員の皆さんで意見があれば、お願いをいたします。

○金子勝寿委員 観覧席、一般的にね、おつくりになるプロから見たら、どれが一番いいんですかね。それをやっぱ聞かないと、私たちというのは正直、素人なものですから具体的に、流山も含めお願いします。

○INA新建築研究所（北吉貴行君）今回、3案お出ししておりますが、やはり一長一短がありまして。

まず、コート全てのラインが見えるというところでスタートしまして、それをするとやはり、一番上の、一番低い形になります。ただしこの場合、1列目の前の手すりの高さがアリーナの床から1,260と書いてありまして、1.26メートルになります。そうするとやはり、ちょっと人がぶつかったりしたときに、頭をちょっと観覧席のほうにぶついたりとか、やはりボールがその分、観覧席に飛び込みやすくなります。

そういった懸念がありまして、少しずつちょっと上げていきまして、じゃあ、次の段階としまして真ん中のバスケットコートのコートラインが見える位置で設定いたしますと、ちょうど床から1列、一番手前の手すりの壁の高さが約1,770で、約1.8メートル。これですとまあ、人が当たったりしても観覧席に行くこともないですし、今はボール等も比較的入りにくくなっておるのではないかというところが、今、中間なりまして、その下になりますと、やはりバスケットコートもちょっと見えないというところで、我々も経験上、この低床型のタイプになりますと、このやはり第2案がベストかと考えております。

○委員長 よろしいですね。ほかにいかがですか。

〔「なし」の声あり〕

○委員長 よろしいですか。

それでは、次に進みます。基本設計素案のスケジュールについて質問をお願いいたします。

○西條富雄委員 各関係団体の説明につきまして、曜日と時間帯をどのようにお考えかお伺いします。

その理由はですね、各参加していただく人数が少ない中、こういった具体的なもの出てきますと、体育関係の皆さんから、やあ、ああして、こうしてっていうのが出てくると。

じゃあ、そういった説明会出たのかって言いますと、時間的に出れなかったとか、曜日が合わなかったとか言ってますから、できれば土曜日の夜だとか、日曜日とか、まあ、日曜日みんなスケジュール入ってればあれですけれども夜とかですね。そういった体協のせめて理事者たちに、理事がいるんですが、そのメンバーが出られるような時間帯を見計らって開催してもらいたいという要望ですが、いかがお考えですか、お聞かせください。

○**こども教育部長** 体協の皆さんには、その都度、情報提供させていただいております。理事会等あったときにも職員が行って説明をさせていただいております。

体協の皆さんには、常々、お話しさせてもらってるんですが、必要であれば、その都度声をかけていただければ、会議のときに行って説明をさせていただきますというお話をさせていただいておりますし、曜日等についても、今、委員さんからお話がありましたように、ちょっと体協のほうとも注意をして、なるべく皆さんに出ていただけるようなときに設定をさせていただきたいと思っております。

懇話会の関係の各種団体の皆さんもおりますけども、そういったところも御要望があれば、会議のときにお声をかけていただいて説明会もさせていただいておりますので、そんなところで、なるべく皆さんの御意見をということで、心がけておりますのでよろしくお願ひします。

○**西條富雄委員** これはもう体協の組織の中の話になると思いますが、ぜひ、お声がけするときに、体協の会長、あるいは理事から、各メンバーにも、出れる者は出ろというようなことを要望して入れていただければと思います。意見というのが、わりかしそちらの組織の下のほうの者が言うものですから、そのお声がけも願ひしたいという要望です。要望でいいです。

○**委員長** ほかにいかがですか。

○**柴田博委員** 基本設計って言った場合には、これ、工程表を見ると建設費を出すための資料がメインだというふうに思うんですけども、図面的にはどの程度の図面までつくるわけですか。

○**I N A新建築研究所（北吉貴行君）** 本日、お出ししている図面ですと、例えば柱がなかったり、先ほども議論に出ました扉の位置とかですね、そういった細かい部分が今回の時点で、今のゾーニング図という形が出てませんので、基本設計が進むに当たって、先ほど柱を落としたりとか、実際の出入り口の扉の位置を落としたりとか、もう少し具体的な図面としての精度を上げていく図面を、基本設計としてまとめる方向で考えております。

○**柴田博委員** 例えば屋根の構造とかですね、床の構造とか、いろいろあると思うんですが、その辺も図面としては成果品としては出てくるわけですか。

○**I N A新建築研究所（北吉貴行君）** 済みません、説明が不足しております、当然、立面図、断面図、外観のパスなども基本設計の成果品としては提出させていただきます。それに付随しまして、構造計画や空調などの設備計画も基本計画書に盛り込んでつくりたいと考えております。

○**委員長** よろしいですね。ほかにいかがですか。

○**村田茂之委員** 全体のプロジェクトの推進の中で、当初は4カ月ぐらいで基本案の骨格って言いますか、まとめられるってことなんで、それがまあ、オンスケジュールになってるのかなあっていうふうに捉えています。

先ほど西條委員もおっしゃってたんですけど、市民の関心度をどうやって維持していくかっていう意味では、ちょっとプロモーション、これでいくと懇談会になるんですか、前回やったけど、あまり人が集まらなかったっていうようなお話も、ちょっと聞いたりしています。まあ、そういう意味で、どのように市民にPRしていくか

ってというようなところです。

アナウンスしながら、私の言葉でいくと、市民からの期待度を管理する、保持すると言いますか、継続するっていう考え方なんですけど、まあ、そういうことに対して御配慮いただきたいなというふうに思います。もうちょっとプロジェクト全体じゃないかもしれないんですが、基本設計書の記述項が何であるかというのは、ちょっと私ども、まだわからないんですけども、先ほど柴田委員もおっしゃったようなパース図とか、それから後、今回積算が建物を中心になっちゃって、外側が幾らになるのかわからないですね。

市民から見れば、その生活スタイルの中で外観どうなのとか、そういったもの、もう少しわかるようにしていただければありがたいなと思います。

最後ですけども、別の案件のときに三次元って言いますか、ムービー型で中をスルーできるとか、そんなことの中で、より、こう実感がわいたような気がします。あの、その辺はもう、建設分野の中では当たり前なことだと思うので、基本設計の段階まで、何か簡単なものでまずはスタートいいと思うので、そういうものがあると、議会及びその関係者団体の理解度と言いますか、そういったものは一層深まるんじゃないかなと思うので、御検討をお願いします。

○**こども教育部長** はい、ありがとうございます。庁内の会議の中でも、もうちょっとしっかり今の状況等をPRをして、せっかくつくる体育館ですので、市民の皆さんが夢を持ってもらえるような形のを、ぜひPRということで。

今、少し考えておりますのは、えんぱーくの中に今の体育館の進捗状況をちょっと掲示を、継続的にできれば完成までしていきたいなというふうに思っておりますし、その他、例えばレザンホールのところでも、入り口のところを使わせていただいて、そういった掲示とか考えてます。

それから、12月の広報の折り込みには基本設計の案をお出しをしたい、折り込みしたいと思っておりますし、12月24日に基本設計についての市民説会をさせていただきますが、先ごろ区長会の理事会の中でもお話をさせていただいた中で、回覧等しっかりしていただいて周知をという言葉もありましたので、そんなところでしっかりと今の状況等をPRをしていきたい、情報提供をしていきたいというふうに思っております。

それから、外構につきましては、今、体育館の平面計画のところを先に詰めさせていただいておりますので、今後、公園等につきましても、また、幾つか案をつくり上げていく中で、また、市民の皆さんにも説明をさせていただいて、御意見等いただいて、つくり上げていきたいというふうに思っておりますので、よろしく願いいたします。

○**委員長** よろしいですか。ほかにいかがでしょう。

○**小澤彰一委員** 全体にですね、うまくできてると思うんですけど、メインアリーナの中にね、出っ張ってる部分がありますね。何か所かね。階段だとか、あるいは器具庫だとか、本部だとか。これは多分、安全上、大丈夫だとは思うんですけども、人がかなりの勢いで、こう移動する、行動するので、やはりその安全性だけは配慮していただきたいなと。

それから、アリーナコリドーの部分のところ、椅子とそれからランニングコースの一緒になってる部分がありますけれど、これも多分、安全配慮されるんでしょうけれども、大会の途中、大会の最中は、このランニングコースを閉鎖するにしても、練習の際には、ランニングコースがオープンになる可能性が高いので、やはりそこ

ら辺の見ている方と、それから走る方、歩く方との分離のようなことも、安全配慮をお願いしたいなと思います。お願いします。

○委員長 要望でよろしいですか。

○小澤彰一委員 要望です。

○委員長 ほかにいかがですか。

○副委員長 まだ先のことになると思うんですけども、日の丸とかね、市旗の掲揚するポールを立てるのか、あるいは、この体育館の場内のところへ吊り下げ式のそういう大会旗とかね、いろんなものをするのか。その辺の構想は、今、考えられているか、まだこれからでしょうか。

○新体育館建設プロジェクト担当係長 副委員長、御指摘の部分についても検討はしております。ただ、今、平面計画をつくっておりますので、これから詳細に入っていく段階でどのように、どの位置につくるのが一番いいのかというのを検討しますので、よろしくをお願いします。

○副委員長 それともう一点だけ。屋根がドームなものですから。この辺がほら、雪が降ったときに積雪の問題とか、解けてくると雪どめがある程度配慮しないと、車の上へ滑り落ちちゃうというようなことも考えなんです。その辺については設計上で、どさんと一挙に落ちてくるようなことがないように配慮はすると思うんですが。その辺が、この辺の長野県の独特の冬のですね、凍結したり、解けてくれば一挙にまた滑り落ってくるようなところが出るものですから、その辺の配慮も今後の細部の設計の中で雪どめ等も、また検討してほしいと思いますが。今現在、何かお考えがあったらお聞きしたいし、そうでなければまた、今後の中で検討してもらいたいと思います。

○INA新建築研究所（北吉貴行君） 屋根の形状につきましては、現在、プロポーザル案で御提案してあります。緩いこういうR型になっております。当然、雪については極力ためますが、やはり解けて落ちる場合がありますので、その落とす場所につきましては、人の出入りが無い場所を設けたりとか、仮に出入りがあったとしても、もう一段屋根を設けまして、直接、当たらないようにしております。

あと、この地域の設計に関しましては、弊社は東京の事務所ですが、INAエーシーエ設計共同体という形を取らせていただきまして、共同体であるエーシーエ設計様は長野本社で松本に支店もごございますので、このあたりの地域の実情、雪の状況なども一緒になって考えて設計に反映していきたいと思っております。以上です。

○委員長 北吉参考人、もし御社でこういった豪雪地帯ですとか、寒冷地で設計された体育館があれば、教えていただきたい。ございませんか。

○INA新建築研究所（北吉貴行君） 弊社は、東日本支社というものがあります。そちらは仙台に設けておりまして、以前は札幌支店も設けておりましたが、今は、北のほうはですね、東日本支社で北のエリアは統括してまして、その中に豪雪地帯もありますので、ちょっと、現在すぐにお出しすることはできませんが、改めて事務局を通して御提示させていただきたいと思います。

○委員長 次回で結構ですので、お願いいたします。

○平間正治委員 トレーニングルームの関係で、見える化も含めてサブアリーナ側からもよく見えるように、ガラスでってこともこの前要望したと思うんですが。流山も中がガラス張りで見えましたので、参考までに申し上げときます。それと、右下のですね、事務室の上の通路ってのは、幅が何メートル、ここは何メートルにな

るのでしょうか。

○INA新建築研究所（北吉貴行君） 幅員約2メートル確保しております。

○平間正治委員 採光は、どうなるのでしょうか。

○INA新建築研究所（北吉貴行君） 光につきましては、現在、ちょっと部屋に囲まれてますので廊下の突き当たりが出入り口になるんですけど、そこから明かりをとるのが1つと。必要に応じてちょっとその上に、トップライト、ハイサイドライトなどがとれるかどうか、ちょっと今後の検討になりますが、エントランスホールも明るくなっておりますし、廊下の突き当たり等の扉もガラス戸にいたしまして、そこから採光を主には考えております。

○平間正治委員 少し狭い感じもしますし、薄暗くなるのかなというイメージが浮かぶんで、先ほどのアリーナコリドーとの関係も出てきますけれども、アリーナコリドーの利用回数がそんなになれば、ふだん、広いものがあっても無用の長物になってしまうんで、こういうところとのバランスも考えていただいたほうがいいのかなっていうように、これは要望しておきます。

○篠原敏宏委員 ボルダリングコーナー、これはスポーツフォーラムとの境の壁に内側を向いてつくっていう、3の主要施設について。

○新体育館建設プロジェクト担当係長 ボルダリングコーナーにつきましては、今、大体、平面図が上がってきましたので、ボルダリングについても、子供たちが遊ぶ程度のものにするのか、ある程度高さのあるものにするのかなども含めまして、検討いたしまして、ある程度のものになりますと、やっぱり下にマットが必要であったりしますので、そのあたりも検討して、一番最適な位置に置くことをこれから検討してまいります。

○篠原敏宏委員 そうですね。あの、ちょっとこの図で見ると、これかなり無理して絵を描いてあるなという気がいたします。安全も含めて、今、平間委員の廊下の幅員も含めて、ここへ設置するのがちょっと無理があるんじゃないかなと、高さも含めて思いますので、ぜひ、どうせやるんなら、今、人気のあるスポーツで、多分スペースになるというふうに思いますので、安全も含めてしっかり検討をしていただきたいなと思います。これ要望です。

○委員長 ほかにいかがですか。

○村田茂之委員 今の篠原委員のところで発展してるんですが、前回、新スポーツって言うんですか、新種のスポーツって言うんですか、そういったものを何を見ていってかかっていうような話があってですね、例えば会場選定をする場合に、あそこの体育館では、こういうスポーツができる、そういうベネフィットなりアドバンテージになる、十分なると思うので、その辺の検討状況をお話しできればお願いします。

○新体育館建設プロジェクト担当係長 ニューススポーツという定義がですね、非常にあやふやなものでございまして、例えば長野県ですとマレットゴルフ、これもニューススポーツという大きなくくりになります。ですので、どのあたりをニューススポーツにするかっていう範囲も非常に難しいところもございまして、ニューススポーツというのは基本的に既存の施設を利用してやるスポーツが多いものですから、通常の使用の体育館であれば、大体のニューススポーツはできるかなと考えております。

○委員長 よろしいですか、村田委員。

○村田茂之委員 はい。

○委員長 ほかにいかがですか。

〔「なし」の声あり〕

○委員長 それでは、先ほどですね、西條委員、村田委員から出ましたように、市民の関心がなかなか高まってこないというようなこと。また、私も9月30日の懇談会に出席をいたしました。せっかくINAの設計士さんが1泊されて説明に出られてたのに、20人程度で非常に残念だったというふうに思っております。これもひとえに、当然、行政側がやるべきことではあると思いますが、委員各位におかれましては、それぞれ市民の皆さんに周知をしていただいたり宣伝をしていただいで、体育館に対しての期待度を高めていただくように、委員長として、お願いを申し上げます。

それでは、ないようですので、以上をもって協議事項を終了いたします。理事者から挨拶があればお願いいたします。

---

#### 理事者挨拶

○副市長 大変に、慎重に御審議をいただきましてありがとうございました。たくさん御意見を賜りましたので、これからまた、設計のほうに反映をさせていただきたいと思っております。

また、御指摘がございました、市民の関心を高めるという点に関しましては、きょうは、ちょうど庁議がございまして、そういう指示を市長からもいたしまして、できるだけビジュアルで市民にわかりやすく、一番実は、設計の段階が楽しい時期って言うのはちょっと語弊がありますが、市民の関心を高めるいい時期でございますので、工夫をさせていただいて、関心を高めるように取り組んで進めてまいりたいというふうに思っております。

本日は、大変ありがとうございました。

○委員長 それでは以上をもちまして、特別委員会を閉会といたします。

午後13時51分 閉会

平成29年10月19日（木）

委員会条例第29条の規定に基づき、次のとおり署名する。

新体育館に関する特別委員会委員長 永田 公由 印